

(別紙5)

整理番号 2020P-030
補助事業名 2020年度自転車安全利用等、人にやさしい健康で安全な社会づくりを推進及び交通マナーを啓発する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①自転車情報提供事業

自転車の総合情報提供施設である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。

(来館者数 1,932名)



自転車文化センターギャラリー正面



自転車文化センターライブラリー展示室・専門図書

また、一般の方の自転車への興味を喚起し、これから自転車に乗ろうとする方々へ向けた、当センターオリジナル「BCGサイクリングコース推奨ブック①～始めよう自転車ライフ～」を作成し、当センターwebにて紹介するとともに、来館者やサイクリング講座などの講習会にて配布・活用した。

②自転車普及啓発イベント

イ) 自転車に関する企画催事 (<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100479>)

下記の企画催事を開催した。

名称：『オンラインハンドメイドバイシクル 2021』

期間：2021年2月13日(土)～3月21日(日)

掲載場所：自転車文化センターHP、SNS (Facebook、Twitter、YouTube)

内容：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場での開催は中止とし、HPやSNSを活用したオンラインで開催。国内の経験と実力を持ったハンドメイドビルダー、メーカーの実車・部品等を展示し、その高い技術

(別紙5)

と自転車に対する深い造詣、そうした匠の技を自転車愛好家だけでなく広く一般の人々にも分かりやすく画像や映像で紹介。加えて、ハンドメイドビルダーによるスペシャルトークショーをオンラインで配信した。

閲覧者数 : 164,260 ビュー

自転車文化センターHP (ページビュー13,945、ページ別訪問者 18,248 人)

Facebook37,548 ビュー、Twitter103,784 ビュー、YouTube8,983 ビュー

※参考 昨年の来場者数 合計 3,550 人 (25日 2,183 人 / 26日 1,367 人)



オンラインハンドメイド特設サイト



YouTubeにてオンライン
スペシャルトークショーを行った

ウ) 自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の持つ多様な活用法とその魅力を紹介するため、以下のテーマ展示を行った。

※補助事業は(2)～(4)のみ

㊦ 第1回テーマ展示「自転車月間展」

期間：2020年6月2日(火)～8月2日(日) 来館者数：230名

㊧ 第2回テーマ展示「ランドナー自転車展」

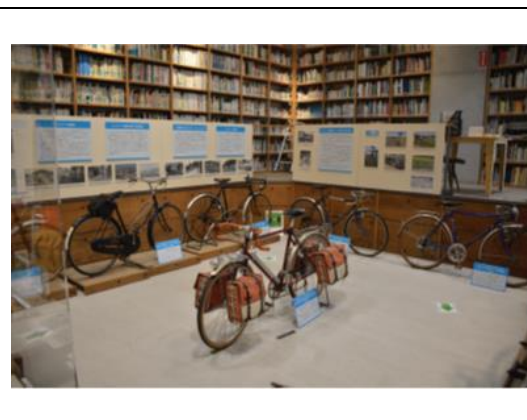
期間：2020年8月5日(水)～9月27日(日) 来館者数：913名

㊨ 第3回テーマ展示「競輪の魅力展」

期間：2020年9月30日(水)～2021年1月11日(月) 来館者数：479名

㊩ 第4回テーマ展示「求められる電動アシスト自転車展」

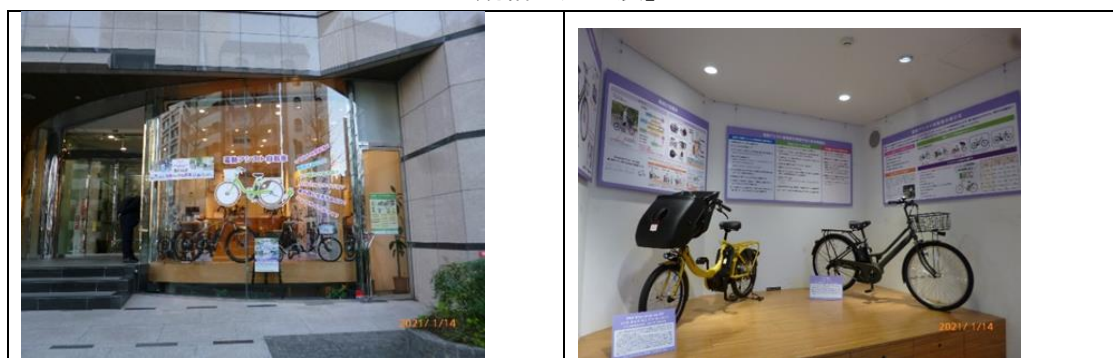
期間：2021年1月14日(木)～3月28日(日) 来館者数：293名



「ランドナー自転車展」



「競輪の魅力展」



「求められる電動アシスト自転車展」

③自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーン <http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>

コロナ感染の予防措置のため、地域の状況に合わせて7のバイコロジー地方組織が統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を実施し、バイコロジーの普及啓発を図った。また、2020年6月30日に道路交通法が一部改正され、自転車の妨害行為に対して厳しい罰則が義務づけられたが、あまり認知されていない現状を受け、バイコロジーの目的の「正しい自転車利用の啓発」を行うため、改正された道路交通法と自転車ルール・マナー遵守を呼び掛けるポスターを作成し自転車販売店やバイコロジー各地方組織の関係する公共施設に掲示を依頼して周知を行い、安全利用の向上を図った。



統一事業(北見バイコロジー)

統一事業(南さつまバイコロジー)

2 予想される事業実施効果

①自転車情報提供事業

自転車文化センターが目黒に移転して満7年となるが、地元自治体からの自転車交通安全に対する内容の依頼がコンスタントにされるようになり、最寄り駅となるJR東日本目黒駅(23区内5駅合同)で実施されたイベント企画への協力依頼等、地域に根差した当センターの役割が担え始めていることの表れと期待できる。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で「自転車」が見直されたことで、自転車の専門分野以外のところからの問い合わせも多くあり、「自転車」をキーワードとしたことへの施設の認知度が上がっていると予想され、今後も一般の方はもとより、自転車に関する幅広いニーズに応えることのできる公共施設として利用される機会の増加が期待でき、自転車に関する様々な情報提供や発信の場として、当センターがその役割を担い、自転車文化の醸成や産業の振興等に寄与する。

②自転車普及啓発イベント事業

イ)企画催事

サイクルツーリズムが推奨されていることもあり、一般の方々をはじめ余暇や暮らしの質を高めるツールとして体格や年齢等に応じたオーダーメイド自転車への関心、需要が高まりつつある。また、高齢化社会での問題ともなっている自動車運転免許返上による移動手段の選択肢の一つとして自転車への切り替えに対する問い合わせもあり、その利用内容は多岐に亘っている。身体に障害をもっている方のリハビリ用としてだけでなく、今後も時代の変化に合わせたニーズは高まると予想される。そういったニーズに応えるオーダーメイド自転車の紹介、提案といった場にもなるような「ハンドメイドバイシクル展」に期待が高まる。

ウ)テーマ展示

“自転車”をキーワードとしたテーマを設け、身近で便利な移動手段に留まらない自転車の魅力を紹介する。展示の中では、歴史的な自転車を随時展示し、「いつでも歴史的な自転車を見ることが出来る施設」として認知を拡げる。

リピーターの来館者はもとより、新規来館者を誘致するきっかけとなるよう自転車に関する豊富な情報に触れる機会を提供し、メディア等にも当センターの在り方をアピールし、自転車の魅力、文化の醸成を図る。

③自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーン

道路交通法が改正され、あおり運転等悪質な自転車運転の違反者を取締り、講習が義務づけられ、「正しい自転車利用の啓発」を行うため、改正された道路交通法と自転車ルール・マナー遵守を呼び掛けるポスターの内容で、自転車販売店やバイコロジー各地方組織の関係する公共施設及び関係団体に掲示を依頼して周知を行い、安全利用の向上を図った。こうした活動を通じて、コロナ禍において市民の自転車利用が見直されている中、警察や行政機関との連携を図って利用者自身が自転車交通ルールを改めて再確認するきっかけを提供する存在となる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100498>)

- ・ BCCサイクリングコース推奨ブック①
～始めよう自転車ライフ～

オンラインハンドメイド
バイシクル2021印刷物

<p>BCC サイクリングコース 推奨ブック (表紙)</p>	<p>BCC サイクリングコース 推奨ブック (目次)</p>	<p>チラシ・ポスター</p>

- ・ 自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

- ・ 自転車安全利用の普及啓発
ポスター

<p>パンフレット(表)</p>	<p>パンフレット(裏)</p>	<p>ポスター</p>

- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会
(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 会長 石黒 克巳 (イシグロ カツミ)

担当部署： 事業課 (ジギョウカ)

担当者名： 課長 村山 吾郎 (ムラヤマ ゴロウ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： murayama@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>